

オーストラリアレポート

豪州準備銀行は量的緩和策の延長を決定

- 豪州準備銀行（RBA）は、政策金利と3年国債利回りの誘導目標を0.10%で据え置き。現行の国債買い入れ策の終了後も、追加で1,000億豪ドル相当の国債買い入れを実施し、量的緩和策を延長する方針を示す。
- 豪州の実質GDP（国内総生産）は年央までに新型コロナ前の水準を取り戻す見込み。
- 財政・金融政策の効果により住宅市場の回復が顕著。今後も低金利を背景に住宅市場の回復を見込む。

豪州準備銀行は量的緩和策の延長を決定

豪州準備銀行（RBA）は2月2日、政策金利と豪州3年国債利回りの誘導目標を0.10%に据え置きました（図表1）。

また、RBAは4月中旬に現行の国債買い入れプログラム（総額1,000億豪ドル）が終了した後も、追加で1,000億豪ドル相当の国債および州政府債を購入する方針を示しました。RBAが量的緩和策の延長措置を決定したことで、早期のテーパリング（量的緩和縮小）の可能性が後退し、今後の豪州国債市場の安定に繋がると期待されます。

豪州3年国債利回りはRBAのイールドカーブ・コントロール（流通市場での国債買い入れを通じて利回りを低く誘導）により低水準での推移が続く一方、米国金利上昇の影響から中長期の国債利回りは切り上がる傾向にあります。

実質GDPは年央までに新型コロナ前の水準に

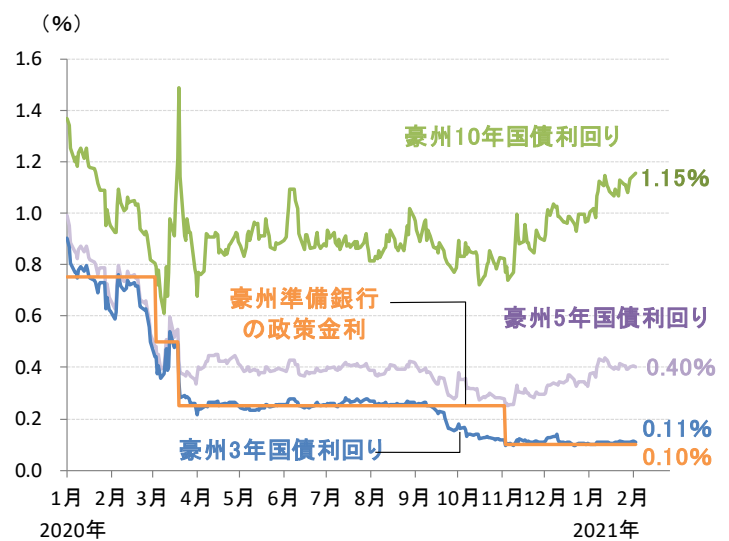
今回のRBA理事会の声明文では、豪州景気の回復が今後も継続するという景気見通しが示されました。RBAの中心シナリオでは2021年から2022年にかけて豪州の実質GDPは年率3.5%のペースで成長すると予想されています。この見通しの下では、2021年央までに実質GDPは新型コロナ前の2019年末の水準を取り戻すと見込まれています。

今後も低金利を背景に住宅市場の回復を見込む

足元の豪州景気の中でも、積極的な財政政策・緩和的な金融政策の効果から住宅市場の回復が顕著となっています。

豪州の住宅ローンの新規貸出額は居住目的の実需主導で2020年12月には統計開始来の最高額を更新しました（図表2）。今後もRBAの緩和的な金融政策により低金利の継続が期待できることから住宅市場の回復傾向は続くものとみられます。

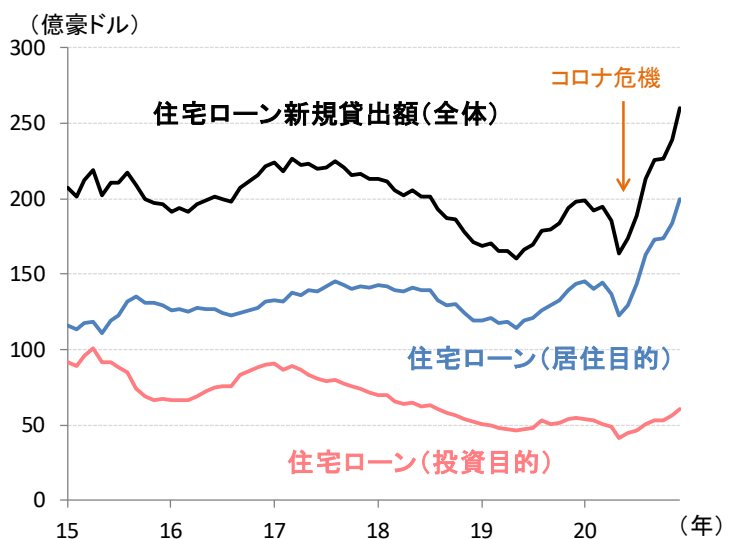
図表1：豪州準備銀行（RBA）の政策金利と国債利回り



(出所) RBA、ブルームバーグ

(期間) 2020年1月1日～2021年2月2日（日次）

図表2：豪州の住宅ローン新規貸出額の推移



(出所) 豪州政府統計局

(期間) 2015年1月～2020年12月（月次）

(注) リファイナンス（借り換え）を除く。季節調整済。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>